

FPで学ぶ6分野

生まれてから亡くなるまで、個人のライフサイクルで必要になるお金の知識が6つに分けて出題されます。

FPは、「お金の知識」を6分野に分けて体系的に学習できる実践的な資格です。学習する6分野は、どれも私たちの生活に身近なものばかり。これらの知識を体系的に身につけることで、将来に余計な不安を感じることなく、充実した豊かな生活設計を立てることができるようになります。学べる内容は、教育・住宅・老後資金といったライフプランニングの柱となる考え方、年金などの社会保険制度、税金、資産運用、相続など、私たちが生きていくうえで必要となる知識ですので、すぐにでも自分自身の暮らしに役立てられることが大きなメリットです。もちろん、資産に関するコンサルティングを仕事にしている方、仕事にしたい方にとっては必須の資格です。仕事にも暮らしにも役立つFPの知識をいち早く学んで、豊かな人生を送りましょう。



不動産の取得・保有・売却に際して必要となる法令や税金、契約などの知識、さらに不動産投資についても学習します。一般的に複雑だといわれるこれらの知識を身につけることで、不動産広告や登記簿なども理解できるようになります。



所得税を中心に法人税や消費税、住民税などさまざまな税金に関する知識を学習します。所得税の控除や確定申告の手続きを理解し、自分の税金計算ができるようになれば節税対策もできるようになります。



財産の相続や贈与、事業承継に際して必要な法律や税金に関する知識を学習します。相続・遺産争いの防止対策として役立つ知識であり、弁護士や税理士などの専門家に依頼する際にもスムーズに手続・処理ができます。



公的年金や健康保険・介護保険、住宅・教育ローンの仕組み等を学習します。高齢社会の重要課題の一つである定年後の生活設計や子どもの教育資金計画などのために年金やローンの仕組み・給付制度を知ることは大いに役立ちます。



F 相続・事業承継

～「親から引き継ぐ」「子へ引き継ぐ」に向きあう～

A ライフプランニングと資金計画

～国が最低保障する制度を学ぶ～

B リスク管理

～まさかの時に自分で備える～

E 不動産

～毎日の生活拠点は最も重要な資産～

D タックスプランニング

～豊かに暮らすための義務を知る～

C 金融資産運用

～夢を自分でかなえるために～

債券・株式・投資信託・外貨を中心に特徴や仕組み、売買方法を学習します。同時に金融市場の状況や投資の基本理論を学ぶことで、資産運用におけるリスクとリターンを分析・判断することができるようになります。



FP3・2級試験範囲

FPの試験は、「ライフプランニングと資金計画」「リスク管理」「金融資産運用」「タックスプランニング」「不動産」「相続・事業承継」の6科目から出題され、3級・2級で出題される科目は変わりません。ほとんど同じ試験範囲から3級は入門的なレベルの内容が、2級はより実践的なレベルの内容が出題されます。まずは2級合格を目標に学習計画を立てましょう。

※●は2級のみの出題範囲になります。

A ライフプランニングと資金計画

1. ファイナンシャル・プランニングと倫理
2. ファイナンシャル・プランニングと関連法規
3. ライフプランニングの考え方・手法
4. 社会保険
5. 公的年金
6. 企業年金・個人年金等
7. 年金と税金
8. ライフプラン策定上の資金計画
- 9. 中小法人の資金計画
10. ローンとカード
11. ライフプランニングと資金計画の最新の動向

B リスク管理

1. リスクマネジメント
2. 保険制度全般
3. 生命保険
4. 損害保険
5. 第三分野の保険
6. リスク管理と保険
7. リスク管理の最新の動向

C 金融資産運用

1. マーケット環境の理解
2. 預貯金・金融類似商品等
3. 投資信託
4. 債券投資
5. 株式投資
6. 外貨建商品
7. 保険商品
8. 金融派生商品
9. ポートフォリオ運用
10. 金融商品と税金
11. セーフティネット
12. 関連法規
13. 金融資産運用の最新の動向

D タックスプランニング

1. わが国の税制
2. 所得税の仕組み
3. 各種所得の内容
4. 損益通算
5. 所得控除
6. 税額控除
7. 所得税の申告と納付
8. 個人住民税
9. 個人事業税
- 10. 法人税
- 11. 法人住民税
- 12. 法人事業税
- 13. 消費税
- 14. 会社、役員間および会社間の税務
- 15. 決算書と法人税申告書
- 16. 諸外国の税制度
17. タックスプランニングの最新の動向

E 不動産

1. 不動産の見方
2. 不動産の取引
3. 不動産に関する法令上の規制
4. 不動産の取得・保有に係る税金
5. 不動産の譲渡に係る税金
6. 不動産の賃貸
7. 不動産の有効活用
8. 不動産の証券化
9. 不動産の最新の動向

F 相続・事業承継

1. 贈与と法律
2. 贈与と税金
3. 相続と法律
4. 相続と税金
5. 相続財産の評価（不動産以外）
6. 相続財産の評価（不動産）
7. 不動産の相続対策
8. 相続と保険の活用
- 9. 事業承継対策
- 10. 事業と経営
11. 相続・事業承継の最新の動向

資格の概要

FP資格には、日本FP協会が認定する「CFP®/AFP」資格と国家資格の「FP技能士1~3級」があります

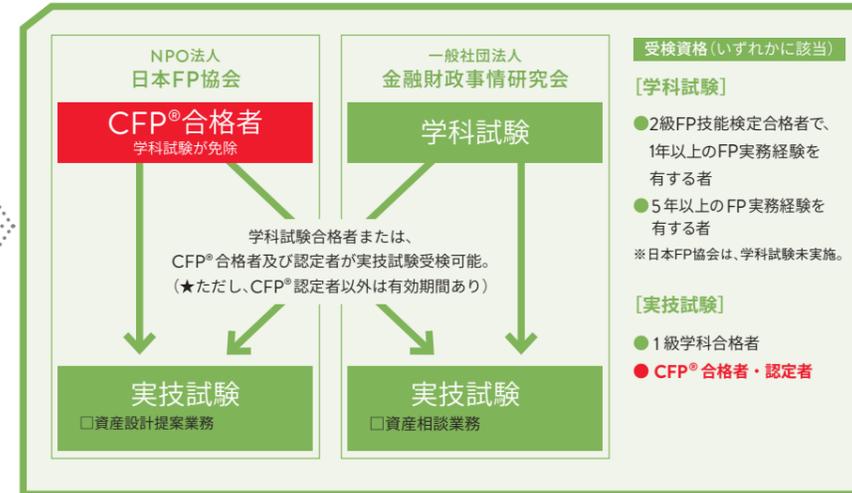
FP資格には、NPO法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会（日本FP協会）が認定するAFP・CFP®と国家資格のFP技能士（1~3級）があり、両資格は相互に関連しています。

AFPは、2級FP技能検定の合格とAFP認定研修の修了といった要件を満たし、日本FP協会へ登録することで取得できる資格です。2年ごとの資格更新に所定の継続教育が義務付けられており、常に知識とスキルの向上を行っている証となります。AFP認定者は、基本的なインタビュー技術、提案書の作成技術、プラン実行援助のためのさまざまな知識を有しており、日本全体で約16万人（2019年8月現在）が活躍しています。

上級資格のCFP®は、世界24カ国・地域（2019年4月現在）で認められた世界水準のプロフェッショナルであることを証明する資格です。日本では約2.2万人（2019年8月現在）がCFP®として活躍しています。CFP®合格者および認定者は、1級FP技能検定の学科試験が免除されます。

FP技能士は、1級から3級までレベルに応じて受験が可能です。3級は入門的な位置付けのため、仕事や暮らしにFPの知識を活かしたいという場合には、より実践的で役に立つ2級以上が目標となります。

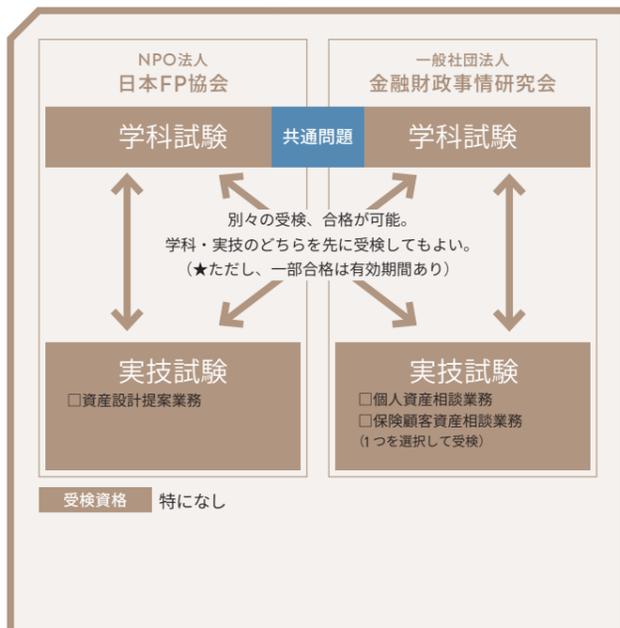
1級



ポイント CFP®→1級で効率良くWライセンスを取得!

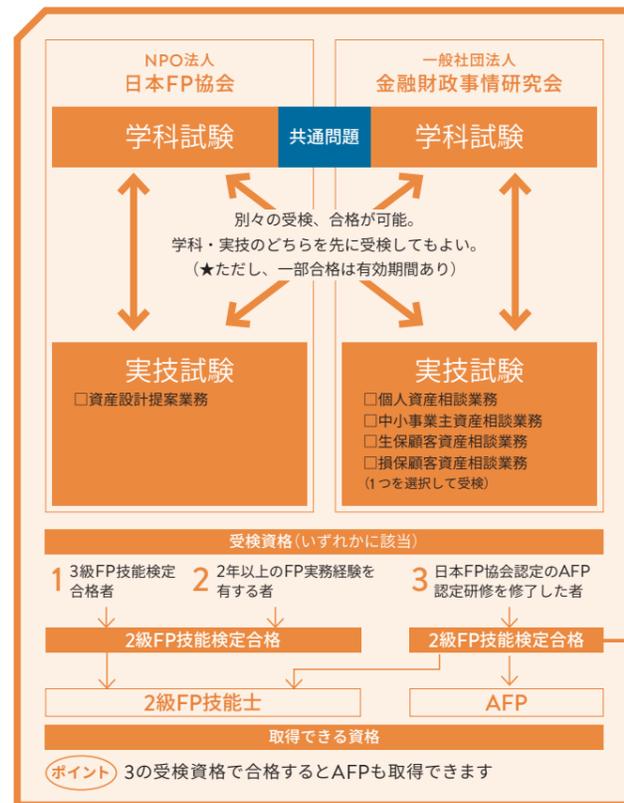
国際ライセンス

国家資格 3級

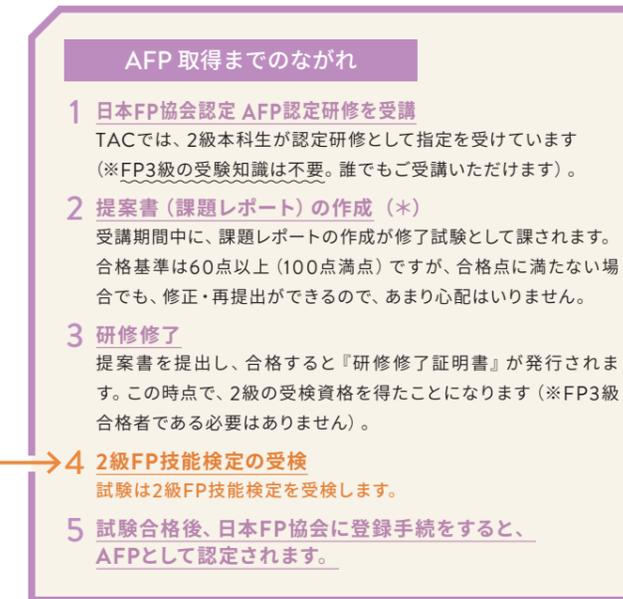


★一部合格の有効期間について
学科・実技試験を別々に受験する場合や、同時に受験して片方が不合格になった場合など、残りの試験は片方の合格から翌々年度の3月末日までに合格しなければなりません(CFP®認定者の1級学科試験免除の有効期間は無期限)。

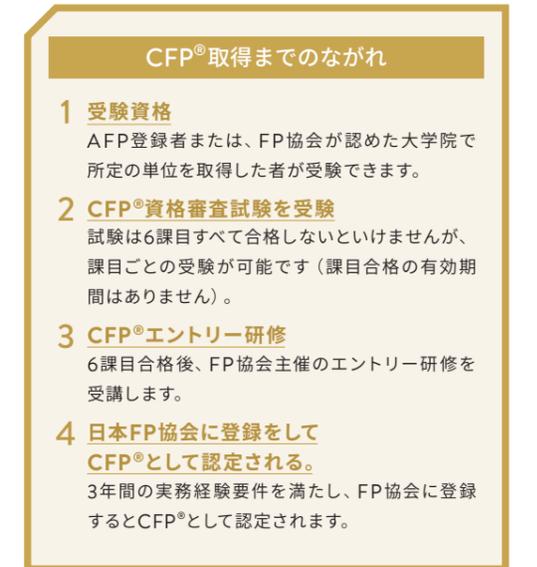
2級 [兼AFP資格審査試験]



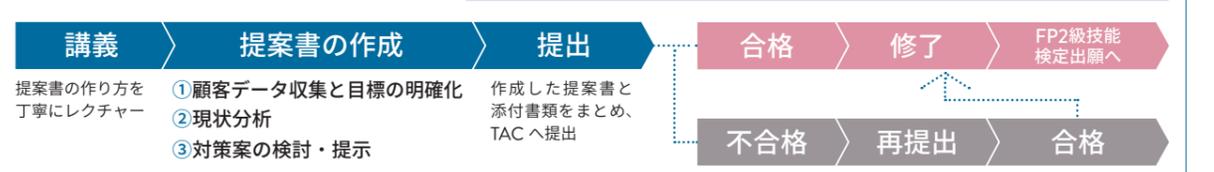
民間資格 AFP Affiliated Financial Planner



CFP® Certified Financial Planner



(*)「提案書」合格までの流れ



試験の概要

2級 技能検定 (兼AFP資格審査試験)

受験資格
次のいずれかに該当
●3級FP技能検定合格者
●2年以上のFP実務経験を有する者
●日本FP協会認定研修を修了した者

[2級技能検定合格とAFP登録について]
国家資格の2級FP技能士は、2級試験合格と同時に取得でき、生涯有効となります。一方、民間資格のAFPは、日本FP協会に登録手続きをしてはじめて、資格が取得できます。AFP資格認定を受ける方の登録期限は、2級FP技能検定に合格した試験日又はAFP認定研修修了日のいずれか遅い日の翌々年度末(3月末)までです。詳細は日本FP協会のホームページを参照ください。

ただし、CFP®試験を受験する方は、各試験月ごとに登録期限がありますので、ご注意ください。
※AFP登録には所定の費用が必要です。
●入会金 10,000円(初年度のみ)
●年会費 12,000円
※上記費用のほかに、所定の継続教育(2年間で15単位以上)を受けることが義務付けられています。資格を維持するのに費用はかかりますが、その分メリットも多いので、登録するかどうかは合格してからよく考えましょう。

3級 技能検定

受験資格
特になし

試験実施団体	金融財政事情研究会、日本FP協会	
試験月	1月・5月・9月	
合格発表	試験日の約1.5ヵ月後	
試験科目	学科試験	ライフプランニングと資金計画、リスク管理、金融資産運用、タックスプランニング、不動産、相続・事業承継
	実技試験	次の科目から1つを選択して受験 [金融財政事情研究会] 個人資産相談業務、中小事業主資産相談業務、生保顧客資産相談業務、損保顧客資産相談業務 ※試験月により実施されない科目あり。 [日本FP協会] 資産設計提案業務
出題形式	学科試験	筆記試験(マークシート) 四択択一式 60問/120分
	実技試験	筆記試験(記述式) ※「択一」「語群選択」「数値記入」など [金融財政事情研究会] 事例形式 5題/90分 [日本FP協会] 40問/90分
合格基準	学科試験	60点満点で36点以上
	実技試験	[金融財政事情研究会] 50点満点で30点以上 [日本FP協会] 100点満点で60点以上
受験料	学科試験	4,200円
	実技試験	4,500円

試験実施団体	金融財政事情研究会、日本FP協会	
試験月	1月・5月・9月	
合格発表	試験日の約1.5ヵ月後	
試験科目	学科試験	ライフプランニングと資金計画、リスク管理、金融資産運用、タックスプランニング、不動産、相続・事業承継
	実技試験	次の科目から1つを選択して受験 [金融財政事情研究会] 個人資産相談業務、保険顧客資産相談業務 [日本FP協会] 資産設計提案業務
出題形式	学科試験	筆記試験(マークシート) ○×式・三択択一式 60問/120分
	実技試験	筆記試験(マークシート) ※三択択一式 [金融財政事情研究会] 事例形式 5題/60分 [日本FP協会] 20問/60分
合格基準	学科試験	60点満点で36点以上
	実技試験	[金融財政事情研究会] 50点満点で30点以上 [日本FP協会] 100点満点で60点以上
受験料	学科試験	3,000円
	実技試験	3,000円

スケジュール

●印:日本FP協会実施 ■印:金融財政事情研究会実施

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
FP技能検定	3級	学科試験(年3回実施)	●■				●■				●■			
		実技試験(年3回実施)	●■				●■				●■			
	2級(兼AFP資格審査試験)	学科試験(年3回実施)	●■				●■				●■			
		実技試験(年3回実施)	●■				●■				●■			
1級	学科試験(年3回実施)	■				■				■				
	実技試験(年4回実施)		■				■			●	■		●	
CFP®資格審査試験								●					●	

1級 技能検定

受験資格
次のいずれかに該当
[学科試験]
●2級FP技能検定合格者で1年以上のFP実務経験を有する者
●5年以上のFP実務経験を有する者
[実技試験]
●1級学科合格者
●日本FP協会CFP®認定者および合格者

CFP® 資格審査試験

受験資格
次のいずれかに該当
●AFP登録者
●協会が認めた大学院で、所定の単位を取得した者

[CFP®の登録について]
CFP®に登録するには、「CFP®資格審査試験6課目に合格」「CFP®エントリー研修を受講・修了」「試験合格前10年から合格後5年までの間に通算で3年以上の実務経験」が必要となり、要件が整い次第、試験合格後5年以内に登録申請しなければなりません。詳細は日本FP協会のホームページを参照ください。
※CFP®登録には所定の費用が必要です。
●新規登録料 5,000円(初年度のみ)
●年間ライセンス料 8,000円
●年会費 12,000円
※上記費用のほかに、所定の継続教育(2年間で30単位以上)を受けることが義務付けられています。

※試験及び登録の概要は2020年3月現在のものです。変更される場合もありますので、詳細は必ずご自身でご確認ください。

試験・登録に関するお問い合わせ先

●NPO法人 日本FP協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス5F
TEL.03-5403-9700
[URL] <https://www.jafp.or.jp>

●一般社団法人 金融財政事情研究会
〒160-8529
東京都新宿区荒木町2-3
TEL.03-3358-0771
[URL] <https://www.kinzai.or.jp>